

## 宿題 2

締め切り: 1 月 19 日

提出方法: メール (keisukekawata@iss.u-tokyo.ac.jp)

- 提出物: R code と word ないしそれに属するファイル (tex など)

### 1 問 1

- Beveridge Curve を以下のように想定する

$$v = \beta_0 u^{-\beta_1}$$

- 社会厚生関数を以下のように想定する

$$W = -v - \alpha u$$

- $v$  = 求人数、 $u$  = 求職者数、 $\beta_0, \beta_1, \alpha$  = 正の値を取るパラメタ

1. どのような状況において、 $\alpha$  は大きな値を取るのか? 例を挙げながら述べよ
2.  $\alpha$  が大きくなると、最適な求人倍率はどのように変化するのか? 比較静学の結果

$$\frac{\partial \text{最適な } v/u}{\partial \alpha}$$

を示せ

### 2 問 2

実際のデータを用いて、最適求人倍率を計算せよ

- 全データを用いて、 $\beta_1$  を推定する
- $\alpha = 2$  とする